

尾張板金連合会定期総会



細野連合会長

3月15日(日) 小牧ロイヤルホテルに於て、38名が出席して、定期総会が開催された。会の初めに、稲沢支部の故溝口和男氏に対して黙祷が行われ、今後の物故者に対しての心遣いについて、理事会で話し合っておくとの報告があった。

次に細野会長の挨拶があり話の中で、産業廃棄物について述べられ、建築業界だけの問題ではなく、各メーカーにも、今後、産業廃棄物の処分方法等について、考えていただきたいと、意見を述べられた。現実問題として、年々増える、残材や古材の処分方法には頭を悩ましているところで、今後益々、厳しくなる規制等

で処分してもらう場所さえ無くなるのではという不安さもあるくらいである。

議事に入り、9年度の事業報告、会計報告等を行い、平成10年度は、事業計画として愛知県板金総合職業訓練協会の行う事業の協賛、又、組合員の親睦を図るための、工場見学、ボーリング大会、ゴルフ大会等を行っていくという案が出された。

最後に、村上理事長の挨拶があり、平成10年度の県板新春懇親会が、滞りなく行われるように、各支部の役員、組合員が、今以上に協力してほしいと激励のお言葉をいただいた。



労働保険の講演をする沼澤氏

いた。今回、厚生委員長でもある知多支部の沼沢啓二氏にも出席して頂き、労働保険、年金等、保険についてのさまざまな話をしていた。総会が終了した後、食事会

知多支部定例総会開催

春日井 樋口

があり、県板及び尾張連合会を、より良い会にするための意見交換や、新年親睦会に関するさまざまな話し合いを行った。

愛知県板金工業組合知多支部定例総会



蟹江支部長歓迎挨拶

桜の蕾も膨み、春の訪れもすぐそこ、当日は日曜日の晴天に恵まれ、絶好な日和となり、知多支部は会場を東海市内の商工会館に席を設け、去る3月8日(日)午前10時より開会、ご来賓には地元選出の衆議院議員である久野統一郎先生にもご出席を頂き、尚、県板事務局からは、吉田専務

理(倫)事を初め、問屋、商社の方々を含め、全板ノードで関心のある川口常務にも、ご出席を頂き盛大なる催しとなった。

先ず副支部長である月東巖氏の発声により開会誓言、初



知多支部懇親風景

山氏の司会によりスタート、蟹江利夫支部長の歓迎の挨拶、議長には蟹江重光氏を選任し、提案された議案も順調な歩みで全て可決された。続いて県板報告、技能士会報告、青年部活動報告、永遠に灯を消すことなく続いている、献血活動報告に移り、併せて優良献血者への表彰状及び記念品の贈呈を支部長より手渡された。

知多青年部総会開く!

一足先に青年部は去る3月6日(金)、半田市内の神戸公民館に於いて神原弘部長の発声により開会を誓言した。

ご来賓には蟹江支部長のご



青年部総会支部長挨拶

表彰者は次の方々!

- 7組 平野安男氏
- 9組 月東 巖氏
- 13組 竹内広幸氏

総会も終盤を迎え、ご来賓の代表の方々から、心のごもったお祝辞と祝電を頂戴し、感謝の思いで耳を傾けた。

今年こそは一致団結して難局を乗り越えねばと痛感させられた思いで一杯であった。

出席を頂き、尚且つお祝辞を頂き力強く感じ、今後の活動にも勇気が湧いて来た様な心地!

提案された議案もすべて賛同を得、全会一致で可決を見た。今回は役員改選の年でもあり、綿密な検討により議事に図った処、全会一致により次の方々が承認され、来る4月1日より就任する事となった。尚、前部長は後輩の指導にと相談役として留まる事となった。

部長 沼澤恒一郎氏
新役員 副部長 山内正明氏
左記の通り決定しました。尚、支部との連携は如何に保つか、21世紀も目下に迫り、新世代の活躍を大いに期待するものである。

沼澤

▼新聞屋シリーズ▲

愛知県亜鉛鉄板問屋会

会員会社紹介

第十六回 株式会社野々山商店



代表取締役社長 野々山 保高氏

『よい製品を即納する』を百年來、一貫したサービスとして心がけている。今回は創業が明治時代という(株)野々山商店を紹介する。

明治・大正・昭和・平成と四時代をトタン屋を商いとしてきた野々山商店は明治二十年(一八八七)飯田街道の古井ノ坂付近で初代野々山藤太郎が商売をはじめた。二代目の野々山彦太郎が東陽町九丁目で今のような鉄鋼二次製品や建材商品を扱うようになり、現在は三代目野々山保高氏が東陽町八丁目に移り住所表示が変わったが中区千早の北の東陽町通りで板金業者に『よい製品を即納する』をモットーにニーズに込んでいる。

昭和四十九年には岐阜市岐

八年四月一日
本社所在地
名古屋市中区新栄一―三十三
六―一三三

岐阜営業所

岐阜県羽島郡岐南町伏屋五十九四
昭和四十九年一月十六日

代表取締役社長

野々山 保高

昭和二年八月二十五日生

資本金 一千万円
従業員 五十五名

事業内容

屋根材、外壁材などの金属材料の販売、加工業系建材の販売等 年商二十四億円

営業範囲

名古屋市内及び近郊と知多地区・岐阜市内及び近郊と岐阜県西部
以上 驚見

創業者

明治二十年(一八八七)

創業者

野々山藤太郎

創業地

千種区古井の坂付近

近

会社設立

昭和二十



▶本社社屋

「チャンスはどこでも」

三月七日午後一時半より名古屋駅前ホテルキャッスルプラザ三階孔雀の間において山善会総会を行いました。山善会の今回のメインは内藤洋子女史の講演で「チャンスはどこでも」と題して、自分の生い立ちを話して下さいました。内藤女史は旧姓平野・平野謙氏の姉で、随筆家として、また東海ラジオの「松原敬生のバラエティージャーナル」火曜日のレギュラーコメントライターとしても活躍しておられます。

平野一家は中村区に平野金物店を営んでいましたが、彼女が小学六年生の時、父が肝臓の病気で、中村高校二年の時、母が胃ガンで亡くなり、高校を休学し、小学六年の謙氏を養いながら金物店を経営しました。

多感な年頃で世間の風の冷



▶講演する内藤氏

たさや人情の温かさを経験されたそうです。経営は近所に大型スーパーが出来てたちゆかなくなり、店を売り払い、その金で弟を大学に通わせ、薬局務め、婦人警官を務め、同じ職場の人と結婚され、現在にいたっています。弟の謙氏はドラゴンズに入団し、現在ロッチेमマリーンズのコーチをしています。

彼女は父が残した手紙を心の拠り所だと言われました。「健康である事、母を大切に

にする事、結婚の相手は金でなく人である事、しゅうとめのある所へは嫁がない事、子供ができたら、手でたかずに口で聞かせて育成する事、兄弟仲良くする事、人を憎まらず自分を見捨てない事」読まれた目には涙がありました。ドラマの様な話だと思いましたが、内藤女史はもとも才能豊かで、強い意志の持ち主であると思うけれど、断腸の想いで親の残してくれた店を手放した時、新しい人の出合の中で、彼女の道が開けたように思います。

大橋



▶山善会総会風景

摩擦について

ある一定以上の力で物体を押すと物体は動きますが、その時に摩擦抵抗が働きます。静止している時に働く摩擦抵抗を静止摩擦抵抗と呼び、動き出した時に働く摩擦抵抗を運動摩擦抵抗と呼びます。ここで強調して申し述べたい事は、運動摩擦抵抗は静止摩擦抵抗より小さい事です。もし私達が屋根にいて、いったん滑り始めたなら止まりません。命綱か、掴まる場所がないと落下します。

西尾 大橋

支部だより

一宮板金組合

定例総会開く

2月29日午前10時より、市内の活魚料理「江美」で定例総会を行った。

今年度は、役員改選の時期となり人選や、下準備など旧役員のご苦労があったようだ。

事業報告、会計報告は難なく承認され、三役は選考委員により指名で選ばれ新組合長には湯浅伸明氏が満場一致で承認された。

来賓には愛知県板金工業組合理事長村上章氏と、平野弘氏が出席され、理事長からは新年度の抱負と、挨拶があり平野氏からは昨年、秋の褒章にあたってのお礼の言葉と、今後の展望などお話があった。

今年度の総会は組合結成以来最高の参加人数40名と役員のどなたかがいっていた。

正午より席を移して懇親会が行われ、賑やかな宴の一時で幕を閉じた。一宮 佐藤



一宮板金組合新組合長
湯浅 伸明氏

岡板ゴルフ大会にて

3月12日下山ロイヤルカントリーにおいて、25回岡板ゴルフ大会が開催されました。6パーティー22名の参加でした。

曇り空の中、ゴルフ場に到着頃は空も少し明るくなり、さすが日頃心掛けの良い職人さん達の集まり、天も見方するものと思いきや、スタートして間もなく小雨となり、そして雨、雨、雨。うまい人にもうまくない人にも、ゴルフの神様は試練を与えてくれる様です。

久しぶりのゴルフなんだと緊張気味だった組合長高柳氏、体調万全でないのに参加下さった共立石原氏、そして幹事の加納氏、山内氏、本当に御苦労様でした。こんな不況の折ですが、互いにコミュニケーションを確認し合いながらのスポーツ「ゴルフ」は、楽しみながら、会話しながら出来る唯一のスポーツではないでしょうか。岡板ゴルフの集いも、そんな想いが続けさせているものです。

優勝は那須金属の二代目、砂塚紀弘さん、同じパーティー小生はというと、ニアピン賞2つ、まさに、上出来です。

岡崎 中西

ゼネコン業界にもISOへの動き

いっこうに先の見えない景気状態の中、特に建設業界の低迷がますます深刻になってきた現在、各業界の生き残りをかけて(将来的にも)これまで以上の品質管理をアピールする意味で、ISO(国際標準)認定の動きが見られる様になった。

ちなみに、当社取引の元請けゼネコンも全国支店すべてでISO(9001)の認定をうけた。(業界初)

これまで「ISO」といえば生産メーカー主体のものと思われていたが、いろんな業種(たとえば運送業界)にも修得するところが出てきた。それにより、我々下請け業者もこれまで以上の「施工品質管理」及び、書類上のいろいろな仕事が必要になってくると思われまます。

「施工計画書」「施工要領書」「施工図」の提出、及び現場での「材料受入れ検査」「中

間施工検査」など公官庁工事程度の管理が全ての現場に必要なになってきます。

それに対応するためには我々職人も、各種提出書類の書き方、施工図の書き方、などを勉強する必要があります。と思

います。

伊藤

3月各支部の動き

熱田南支部	21日 定例会	瀬戸支部	7日 定例会合
12日 青年部会合	津島支部	5日 定例会	小牧支部
17日 定例会	4日 支部会合	7名	組合費値上の件
14日 支部会合	14名	保証制度の件	組合員名簿の件
組合員名簿の件	全板大会の件	昭和支部	9日 支部月例会
11名	支部	29日 健康保険の更新と中間集会	尾張板金連合会
15日 総会	小牧ロイヤルホテル	江南支部	1・2日 支部親睦旅行
山梨下部温泉	16名	15日 支部役員会	支部旧役員慰労会及
28日 支部役員会	知多支部	6日 青年部総会	20名
8日 支部総会	70名	6日 支部総会	70名
豊田支部	7日 第10回役員・班長会	16名	豊田支部
12日 25回岡板ゴルフコン	ベ 下山ロイヤルカ	22名	岡崎支部
新組合員2名	トリー	22名	豊田支部
7日 第10回役員・班長会	16名	28日 青年部総会	碧南支部
4日 青年部ボーリング大会	46名	11日 支部役員会	西尾支部
15日	15日	11日 支部役員会	知多支部
28日 支部旧役員慰労会及	20名	6日 青年部総会	20名
8日 支部総会	70名	6日 支部総会	70名

編集後記

「ながら」族の小生、テレビを見ながら新聞を読む。テレビの映像は桜花をズームアップして東海地方の開花宣言を伝えている。それを眺めながら、視線は夕刊の紙面を這う。野外民族博物館・リトルワールドに「世界文化遺産・アルペロベッコの家」がオープンの記事。何でも見たがりやの小生、早速「忙中閑あり」いや「忙中閑を作り出して」ドライブ好きのかみさんと長女が同調して、久しぶりに犬山のリトルワールドへ。桜は少々早かったが家族連れで大賑わい。「一周2・5kmの周遊道に沿って、世界の民家を移築・復元しています。見て、食べて体験するバスポートのいらない一日世界旅行が楽しめる」のガイドの通り、民族衣装も貸し出されて何となくその国へ来た雰囲気だ。目的の南イタリア・アルペロベッコの家は石灰石で作られたとんがり帽子屋根の農家。おとぎの国のように。イタリアの古典芸能・旗振りショーを見ながらワインを飲みパスタとピザを食べジュレートとカプチーノで気分最高の一日。

三月二十六日(木) 晴
三三六号 編集会議
委員 七名 出席
午後 五時終了(S)